



少年会本部錬成会に北海道から49名（スタッフ含）



第550号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

「平成30年7月豪雨」に伴う災害救援募金実施について

天理教災害対策委員会（仲野芳行委員長）では、このたびの「平成30年7月豪雨」による被害が拡大している現状に鑑み、広く教内の真心を結集して、以下の通り「天理教災害 救援募金」を実施することにいたしました。お寄せいただいた募金は、被災地への義援金、天理教災害救援ひのきしん隊および被災教区の復興支援活動に活用いたします。

なお、募金の受付窓口は道友社に置きます。

※物品の寄託は受け付けておりません。ご了承ください

（募金期間は、本年7月17日より9月30日まで。）

【天理教災害救援募金の送り方】

①現金書留の場合

〒632-0015

天理市三島町1-1 天理教道友社 「天理教災害救援募金」係

②郵便振替の場合

00930-7-329329 「天理教道友社」

※通信欄に「天理教災害救援募金」と明記してください。

③銀行振込の場合

南都銀行天理支店 普通預金2306462

「天理教災害救援募金平成30年7月豪雨」

④ご持参下さる場合

天理市内の道友社1階カウンターおよび道友社各販売店、東京支社で受け付けています。

※①④に関しては、受け付け次第、受領証を送付またはお渡しさせていただきます。

天理教災害対策委員会

平成30年7月豪雨被災地の皆様へ

この度の平成30年7月豪雨により、九州から中国、四国、近畿地方にかけ、また本道でも各所に被害が出ました。お出直しされた方々、ならびにご関係の皆様方に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。更に、被災された皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。

天理教北海道教区長 西垣定洋

7月2日 支部長会議で
教区長挨拶の中から

皆様には既にお聞き及びの事ではありますけれども、真柱様が6月7日東京でのご用の折、脳出血のご身上となられご入院されました。その後15日におちばに戻られ、現在「憩の家病院」で療養しておられます。6月の月次祭では大亮様が祭文を奏上し、かぐらづとめもおつとめでした。

教会の事情運びも大亮様により、お願いづとめをなされてからつとめられましたがおさづけの理拝戴はございません。真柱様のご不自由な度合いはわかりませんが、ご本復を祈るばかりです。

災救隊平時訓練

北海道教区隊(奥村尚人隊長)では6月29日〜7月1日洞爺湖町に於いて訓練を実施した。

結隊式では、町長、副町長が見えられて、その関心の高さを知らされたが、真屋敏春町長から、昭和52年有珠山噴火以降の長年に亘る救援復興活動に対しお礼と、これまでの支援が平成20年北海道洞爺湖サミットの開催や、日本初の世界ジオパーク

私たちは今こそ信仰の基本に立ち返って、自分の通り方、心の使い方、そして特におつとめのつとめ方を見つめなおし、会長としての歩みを謙虚に振り返りながら通らせて頂きたいと感じております。大阪の地震をはじめ、各地で様々な災害をお見せいただいておりますが、しっかりと親神様の思いをたずね、真柱様にお喜び頂けるようなつとめ方をし、心を込めて祈らせて頂きましょう。

北海道教区は、8月31日に婦人会長様のお入り込みがあります。また青年会も100周年に向けて勇んでおりますので、この上にもしつかり心を寄せて頂き、一手一つにつとめさせて頂きましょう。

の認定にもつながったと述べられ、教区、隊員の活躍を期待するとあいさつがあった。

作業は平成12年の噴火後に造成された広大な桜公園を、刈払機30台を駆使して、12ヘクタールのうち約8ヘクタールという、過去にないくらい広いの広さの草刈りを行った。

また、目立ってきた枯れ木の除去には、多様な現場に対処できるように、ミニユンボ2台を使って、操作訓練を兼ねて枯れ

木の抜根と整地を行って、作業効率よく、数多く出来て喜ばれた。

訓練には災救隊本部より葛西直己主事が派遣され指導にあたった。参加隊員はのべ41名でありました。



※また、突然に起こる災害に対して情報を集める上に、教会・布教所など、各支部のネットワークを利用し、教区まで報告を下さいますようお願い致します。(教区災救隊隊長・奥村尚人)

第17回ままつぶの集い
なごやかに「まま力をアップ」

お天気は晴れながら少し寒い朝となった6月16日、午前10時より、教務支庁を会場に、教区婦人会主催の「ままつぶの集い」が開かれて、ママ17名、子供26名、スタッフ23名と、総勢66名の参加者でした。

当初より、お道のママ達が、共に学び、成長アップしていこうと続けられてきたこの会。参加者はまず神殿で、座りづとめをし、その後教区主任先生から、女性としての心のあり方などをお話頂き、「今後の目標にしたい」との感想が聞かれた。

続いてリラクソスの体操があり、少人数のグループでトークの時間を持ち、似顔絵大会など終始和やかな交流を楽しみました。

午後からは、毎年恒例のスィーツバイキングがあり、すごろくトークでそれぞれの個性が出て、笑顔溢れる有意義な一日となりました。

掛から・来年も、産み育ての「まま」を大切にすることに、沢山の方が参加して下さい、お道の「まま」の喜びを、いっぱい



(奥村)

教理随想 二十四

あたりまえ

木岡 昭

娘の主人が中国の上海で仕事をしてきた時期に聞いた話である。

当時の上海の高級レストランでは日本の佐賀牛のステーキ一枚だけで1万円もしたという。その頃の中国の生活水準からすると大金である。だからその他いろいろ注文すると大きな額になる。ところが富裕層の人々は連日たくさん食事にやっつけてる。それは家族、親族、子供たちもあたりまえのようにたくさん連れてくるという。昨今の中国の富裕層の勢いは大したものである。

そのステーキを運んでくるウエイトレスはほとんど田舎から出て来て働いている娘さん達である。当時で月給は八千円位と聞いた。それでも上海は他の都市よりも給料はよい方である。でも私には、ステーキよりも安い月給だから少々違和感も湧く。ところがこのウエイトレスは、八千円の月給の中から田舎

の親へかなりの仕送りをしていくというのだ。それを彼女は親が喜んでくれるからと楽しみにして仕送りをしている。いたずらに人をうらやまず自分の人生はこの道と将来に希望を抱き、仕事が出来ること感謝して明るく頑張っているとの事であった。

ひるがえって、親と共に食事に来た或る娘さんの事だが、彼女は富に慣れてしまい求めるままに物にあふれた生活があたりまえになり、1万円のステーキを食べても感動もないのだと聞いた。

私はそれを聞いて、さもありなんと考えた。

過日ある人が病気になってあたりまえのありがたさが身にしみたと云われた。つまり健康である事はあたりまえだと思っておられる訳だ。しかし健康に心から感謝できるようにすればそれはあたりまえではなくなる。

普通、あたりまえとは当然である事と意味するのである。そして誰もが同じ条件で与えられていると思っている事である。

しかし私たちのあたりまえの心は時と共に必ず喜び心を消し去ってしまうだろう。そしてす

支部総会開催報告

富良野支部(岡田正弘支部長)



べての感動は止まり、人生の成長も止める事になろう。

人々と同じ条件を与えられて生かされていても、私達の人生にはすべて一人ひとり与えられた意味があつて同じ人間はいないのである。

だから、私の人生にはあたりまえはないと自覚させて頂いている。あたりまえでなければ、私にしかない人生を与えられたと悟り、感謝と成長の行動を忘れないようにしたいものである。そしてそれは生甲斐も感じとれるであろう。

は7月7日北奥形分教会で総会を開催した。

9時半開式。おつとめは各組が分担してつとめた。

子ども達も喜んでおつとめをして、それが今後につながるべくと支部長の挨拶がありました。

引き続き各部からの連絡事項後、直会はバーベキューやゲームを楽しんだ。(参加者55名)

札幌北西支部総会

去る6月30日(土)10時より開会、朝夕のおつとめの形で上段に上がる者のみ教服に身を包み参加者全員で座りつとめ、そしてよろづよ八首を地方・鳴物を入れ全員総立ちでつとめた。

総会に移り、支部長より挨拶、その後各部各会より発表があった。

記念講話には会場札幌分教会の元の会長、教区報の連載でもおなじみの木岡昭先生を迎えた。先生は、信仰において大切なこととして元一日について話を起こされ、これを忘れてしまふと勇めなくなる大切なものであると、ご自身の信仰の元一日を台に話された。(参加者82名)

小樽支部総会

小樽支部では、7月1日(日)小樽天理教館を会場に総会を開催した。

総会式典に続き、高橋太志教区育成部長先生による記念講演。さらに参加者全員による「よろづよ八首」総立ちをつとめた。

その後「おたのしみ広場」を開催。婦人会が主体となつて模擬店を出店。さらにステージでは、例年行われる、鼓笛演奏、雅楽演奏のほかにも、今年には教区合唱団の有志の皆様が出演して下さり大いに盛り上がった。最後は、お楽しみ大抽選会が行われ、教友からも多数の景品の提供があり、たくさんのおみやげ」を手に散会した。(参加者170名)

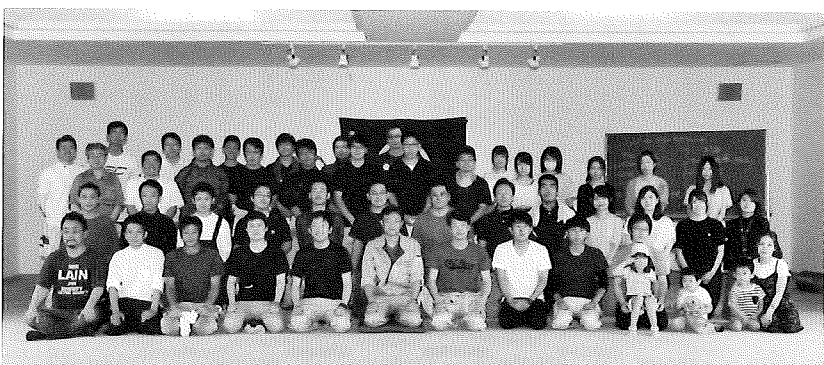




**青年会
緑化ひのきしん**

今年で33年目を迎える洞爺湖町緑化ひのきしんが7月21日開催された。青年会員が中心となつて、多くの女性や子どもも参加して国道37号線を約3キロにわたって除草作業にあたった。

ひのきしんの姿を見て通りか



かった方から感謝の言葉をかけて頂いたり、町の方も家から出てこられて一緒にひのきしんして下さる、たすけあいの姿もみせて頂いた。22日には洞爺湖町の方々の親善ソフトボール大会を行い交流を深めた。

**立教181年9月7日(金)
天理教北海道教務支庁
記念祭**

天理時報普及活用促進大会

布教部布教二課長・天理教生駒大教会長
講演 **中川徳弘先生**

(前日) 9月6日

午後1時～支部長会議
午後4時～功労者
合祀・慰霊祭



三 澤 由美子氏
(54歳)

新会長さん紹介

(平成30年6月26日お運び)

旭川支部

網栄分教会(網走)

奉告祭 9月16日

けいじばん

太鼓を譲り受け、修復し命を
吹き込んだ

日時 平成30年8月19日(日)
10時～16時(雨天決行)

場所 陽気栄分教会駐車場
札幌市南区

◎法律に関する諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会
毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日に本部月次祭選擇式をおこなっております。

◎母親講座Eブロック

日時 8月19日10時より

会場 北誓分教会

講師 中村多鶴子先生
(教区婦人会常任委員)

◎母親講座Aブロック

日時 8月29日13時より

会場 北斗市総合文化セン

ターカナでーる

講師 廣岡やよい先生
(美幌分教会長夫人)

◎天理教学を学ぶ会

第2回公開講座 「元の理」

日時 8月12日13時より

会場 教務支庁大会議室

講師 荒川善廣天理大学教授

受講費 1,000円

◎気仙沼千岩田地区

「太鼓まつり」今年も開催

東日本大震災で廃棄寸前の

内容 藤野太鼓・笑いヨガ・気仙沼マーケット・盆踊り
縁日出店コーナー・お楽しみ抽選会等々

・水島昭司様 6月2日出直 (88歳)
園生分教会前会長 (函館支部)

・林 史典様 6月28日出直 (64歳)
楓分教会会長 (朝根支部)

北海道教務支庁日誌抄
(6月19日～7月18日)

6月26日 本部月次祭選擇式

29日 図書修理会

7月1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

4日 任命願書発送

7日 第196回基礎講座
教務支庁会場

講師 和田与志男
受講者 7名
(累計 85名)

11日 事情願書発送

14日 青年会札幌4支部
YYプロジェクト

18日 教区報編集会議